

【ショートカットキー】とはコンピュータの特定の機能を動作させるために押すキーです。

マウスでコンピュータの画面上の特定の位置をクリックして特定の機能を実行するのと同様。

ショートカットキーを暗記している度合いによるが、場合によってはショートカットキーを使うほうが手軽に特定の機能を実行することができる。

【マウスとショートカットキーの比較】

マウスの利点 ⇒ マウスポインタを特定の位置に合わせてクリックすることが見た目に分かりやすい。

マウスの欠点 ⇒ ・画面上に表示されている(クリックの位置)機能しか実行できない。

・手を動かす量が比較的多い。

ショートカットキーの利点⇒ ・マウスでのクリックに比べ、機能の実行が短時間で可能な場合が多い。

・キーボードで入力しながらポインティングデバイスに手を移動させる必要が無い。

ショートカットキーの欠点⇒ ・機能に対応するキーを覚えておかなければならない(コピーの場合は Ctrl+C など)

・ツールによってコマンドが異なる場合がある。

【便利なショートカットキーの分類】

通常用いるショートカットキーは、概ね次のように類別できます。

[Windows 全般]、[ワード関連]、[エクセル関連]、[インターネットエクスプローラ関連]です。

【今回は、ウィンドーズ全般関連のショートカットキーを紹介します】 Excel、Word 関連は別の機会にします。
(必須ショートカットキー)

・Ctrl + Alt + Delete パソコンが動かなくなった時再起動

・Alt + 半角/全角 IME のオン・オフを切り替え

(Ctrl キーでの基本操作)

・Ctrl+C コピー ・Ctrl+X 切り取り ・Ctrl+V 貼り付け

・Ctrl+Z 元に戻す ・Ctrl+Y 繰り返す ・Ctrl+S 上書き保存

・Ctrl+A すべての項目を選択

(Alt キーでウィンドウズを-操作)

・Alt+スペース 現在のウィンドウズのコントロールメニューを開く

・Alt+Esc アクティブウィンドウを切り替える ・Alt+Tab タスクの切替バーを開く

・Alt+F4 現在のウィンドーズを閉じる

(プロパティを開く)

・Alt+Enter 選択している項目のプロパティを開く

(使わないファイルはゴミ箱へ移さず直接削除)

・Shift+Delete 選択している項目をゴミ箱に一時保存せず直接削除

(Windows キーを使う)

・Windows+D すべてのウィンドウを最小化、再度押して元に ・Windows+E エクスプローラを開く

・Windows+F ファイルの検索ダイアログを開く

・Windows+Tab タスクバー上のタスクを選択 ・Windows+U パソコンのシャットアウト

(ファンクションキーを使う)

・F1 ダイアログで選択している項目のヘルプを開く

・F2 項目の名前を変更(ファイル名等)

・F3 ファイルの検索、ダイアログを開く

・F5 ウィンドウの内容を最新の情報に更新

・F10 プログラムのメニューバーをアクティブにする

(Ctrl+C ⇒ Ctrl+V で数式もコピーできます) 株価推移表で実演します。